

GOAL

▶投票できるのは、名張を愛する皆さんです。居住地や年齢などは問いません。

▶投票は、1月21日までに、投票サイトで！市役所や図書館などの特設投票所でも投票いただけます。

案1 **案2** **案3**

人口が7・8万人と決して少ないまちだけど、知り合いが知り合いを呼ぶ。知り合いが知り合いになる。人のつながりの輪がどんどん大きくなって助け合う、支え合う暮らしができるのが名張です。知り合いが知り合いになって輪が広がっていくイメージのデザイン

悩みや不安も支え合いでなんとかかな。人のつながりやあたたかさ、市民発の活動がまちの自慢。チャレンジしたい人、元気になりたい人を「なんとかする」の気持ちで受け入れます。重複する「な」を円の中に入れることでつながりをイメージ

名張の魅力はいっぱいある。美味しい日本酒やお肉、お米はもちろん、忍者や、江戸川乱歩、自然豊かな景観、旧宿場町も趣がある。暮らしているのは困っているひとを放っておけない素敵なひとばかり。1日かけて語り尽くしたいまちです。方言をいれたコピーを中央に、まわりには名張の様々な魅力を配置

ロゴの詳しい説明や、カラーのデザイン案は投票サイトで。結果は3月に発表！



「ロゴを使って名張を語る」ワークショップに参加。ロゴ案が書かれたマスにとまると、そのロゴに関連したエピソードを語るといった大学生考案のすごろく企画だ。どのロゴも、語り切れないぐらい盛り上がり、ゴールまで辿りつかない事態に…

1回やすむ

ロゴをきっかけに名張を語ろう

一言で説明できない名張の魅力や、知り合いの知り合いは知り合いだったり、誰かの助けでなんとかになった経験をグループで話し合ってみると、「これって名張あるあるやな〜」と想像以上に盛り上がりました。それだけ、3つのロゴ案は名張らしいものだと思える。ロゴをきっかけに名張の魅力を語れる人が増えていくといいな。

杉田香乃さん(大学生)

4マスすすむ

3つのロゴ案が完成し、その活用方法を考えるワークショップに参加。名張を語るために、ロゴをいかに活用していくかが重要だと実感

Tシャツに包装紙、LINEスタンプ、育児グッズ、絵本…、そして、「知り合い」の数珠繋ぎでギネスを目指すイベントなど、いろんなアイデアが出されました！

どんな人がどのように名張で幸せになれる？

ワークショップで出された意見の傾向は…

名張の魅力を使って幸せを実現させていく人物像を考え、どんな人がどのように名張で幸せになれるのか、すなわち、どんな人に名張を知ってもらいたい(ターゲット像)を見出し、見出していきました。

人とつながりたい人、チャレンジしたい人、地域活動に関わりたい人などのストーリーが描かれ、疲れていたり今の生活にモヤモヤしている人も、名張で元気になってほしいという意見も印象的でした。

希望を叶えた人物から過去の自分への手紙(名張の推薦文)も書きました。手紙には、「大丈夫」「なんとかかな」「助け合い」「つながり」などのフレーズが多く見られました。

ワークショップで見出された魅力発信のターゲット像は…

- ・新たにチャレンジしたい人
- ・地域活動に関わりたい人
- ・元気になる人
- ・いろんな人につながりたい人 など

2マスすすむ

「コピー・ロゴ作成ワークショップ」に参加。キャッチコピー案を考える宿題が出され、改めてワークショップを振り返る…

4マスもどる

このワークショップでは、他自治体の事例や「ブランドイメージ創出ワークショップ」で出された意見の傾向を知って、ロゴのイメージを固めていきました。

ブランドロゴ案の作成は、名張の地域共生の取組に携わってきた studio-L という地域コミュニティを支援するデザイン会社に依頼。「ブランドイメージ創出ワークショップ」で出された市民の思いや考え方を整理・分析し、メンバーのうち大学生やデザイナーなど10人と共にロゴ案作成を進めました。

3マスすすむ

持ち寄った宿題を共有しながら、みんなで300近いコピーを考え、案を絞る。頭がパンクしそう…

1回やすむ

4マスすすむ

ワークショップメンバーの声

数本 優さん(経営コンサルタント、消防団) 普段の生活では出会えない人に出会えたのが、人生の財産になったと思います。ワークショップをきっかけに、いろんな人とつながって、さらに名張を盛り上げていきたいです。

獅子原 名都子(保健師) 誰かがやってくれるのを待つだけでなく、自分たちで行動していくという人が集まっている場だと感じました。これからの前向きな名張の発信へつながる気がします。

新春 なばり新時代すごろく 市民発！語れるロゴの物語

「語れるまち」を目指して、「なばりらしさ」を表す3つのブランドロゴ案ができました。市民ワークショップを通じてロゴ案ができていく様子を、すごろくで追体験してみよう！

START 「語れるまち」を目指せ！

持続可能なまちづくりを進めていくために、「語れるまち」を目指すことになった名張市。まちの魅力に気づき、まちを語れる人が増えていくと、まちが好きになり、まちの魅力を伝えたい、まちのために活動したくなる人が増えていくはずだ！

まずは、市の総合計画の基本的な考え方「語れるまちなばり」について知ろう！

「語れるまち」を目指す！

マスに書いてあるテーマに沿って、名張の魅力を語ってみよう！

まちの魅力探究ゾーン

- 伝統文化
- 歴史
- 自然
- 祭りイベント
- 特産品
- ひと

1マスすすむ

まずは、名張の魅力を出し合うことに まちの魅力探究ゾーンの好きなマスにもどる

「まち是人でできている」をテーマにしたまち歩きに参加し、人の魅力を感じる

メンバーと思いを共有し、やる気が出る！2マスすすむ

ワークショップでは800近くのキーワードが出され、特に「人の良さ」や「市民の活動」にかかわる魅力がメンバーの共感を生んでいました。

2マスすすむ

名張の魅力を話し合う「ブランドイメージ創出ワークショップ」に参加する

名張の好きなところを、みんなに発表しよう

高校生や大学生、PTA、消防団、自治会、市民団体、市職員などまちづくりに関わる約40人が集まりました。

3マスすすむ

全員 STOP！

「名張と言えばこれ」という特徴はないかもしれないけれど、豊かな自然に、おいしい食べ物、万葉の歴史と、実は多様な魅力があることに気付く

まちの魅力を伝えるには？

- なばりらしさを表すブランドロゴをつくる…左へ1マスすすむ
- いろんな人がいろんな視点で情報発信する…下へ1マスすすむ

4マスすすむ

市民ライターの記事を読む

1月から市民PRチームが活動開始！みんなでもちの魅力を語ろう(詳細P7)

ふりだしへもどる

各マスのQRコードから詳しい内容をご覧ください